

科目(講座)	グレード	単位数	開設形態	履修形態
地理総合(a・b)	基礎	2	通年(半期認定)	必修科目
地理総合	基礎	2	半期完結	
対象	◎ 新入生向け(高1相当)	○ 在校生向け(高2相当)	△ 卒業予定生向け(高3相当)	
	○ 教養・基礎学力養成	△ 専門学校に対応	△ 大学入試に対応	
受講条件	なし			
学習内容	<p>・前半は、地図、自然環境、国際化など世界の特色をつかむための学習をする。</p> <p>・後半は、近隣諸国(中国・韓国など)や世界の国々(ヨーロッパ・アメリカなど)の民族・生活・文化について学習する。</p>			
評価	評価の観点	評価のポイント		観点別評価の内訳
	知識技能	小テスト		40%
	思考判断表現	提出物		30%
	主体的に学習に取り組む態度	授業態度		30%
備考	なし			

科目(講座)	グレード	単位数	開設形態	履修形態
地理探究a	標準	2	前期	選択科目
地理探究b	標準	2	後期	
対象	× 新入生向け(高1相当)	○ 在校生向け(高2相当)	○ 卒業予定生向け(高3相当)	
	△ 教養・基礎学力養成	△ 専門学校に対応	◎ 大学入試に対応	
受講条件	地理総合を修得していること。			
学習内容	自然環境、資源、産業などの系統地理を中心に学習する。			
評価	評価の観点	評価のポイント		観点別評価の内訳
	知識技能	小テスト		40%
	思考判断表現	提出物		30%
	主体的に学習に取り組む態度	授業態度		30%
備考	なし			

科目(講座)	グレード	単位数	開設形態	履修形態
地理探究a	発展	1	前期	選択科目
地理探究b	発展	1	後期	
対象	× 新入生向け(高1相当)	× 在校生向け(高2相当)	◎ 卒業予定生向け(高3相当)	
	△ 教養・基礎学力養成	△ 専門学校に対応	◎ 大学入試に対応	
受講条件	地理探究(標準)を修得していること。			
学習内容	<p>・地理の基礎である自然環境と人間生活の関りを通して、各地域の特色を一通り学習していく。</p> <p>・地理的な見方や考え方を身に付けると同時に受験に対応した知識や技能の習得を目指す。</p>			
評価	評価の観点	評価のポイント		観点別評価の内訳
	知識 技能	小テスト		40%
	思考 判断 表現	提出物		30%
	主体的に 学習に取り 組む態度	授業態度		30%
備考	なし			

科目(講座)	グレード	単位数	開設形態	履修形態
歴史総合(a・b)	基礎	2	通年(半期認定)	必修科目
歴史総合	基礎	2	半期完結	
対象	◎ 新入生向け(高1相当)	○ 在校生向け(高2相当)	△ 卒業予定生向け(高3相当)	
	○ 教養・基礎学力養成	△ 専門学校に対応	△ 大学入試に対応	
受講条件	なし			
学習内容	<p>日本史や世界史の近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及する。</p> <p>世界の国々の特徴を踏まえて、絵画や地図を用いて歴史の構造と繋がりを学んでいく。</p>			
評価	評価の観点	評価のポイント		観点別評価の内訳
	知識 技能	小テスト		40%
	思考 判断 表現	提出物		30%
	主体的に 学習に取り 組む態度	授業態度		30%
備考	なし			

科目(講座)	グレード	単位数	開設形態	履修形態
日本史探究a	標準	2	前期	選択科目
日本史探究b	標準	2	後期	
対象	× 新入生向け(高1相当)	○ 在校生向け(高2相当)	○ 卒業予定生向け(高3相当)	
	△ 教養・基礎学力養成	△ 専門学校に対応	◎ 大学入試に対応	
受講条件	歴史総合を修得していること。			
学習内容	<p>詳説日本史ノートについて説明を加えながら用語を記入していく。時折、入試問題をその場で解き(または自宅で解いておき)、解答・解説(出題のねらいや構造、関係するテーマの復習)行う。</p> <p>・前期:原始・古代・中世 ・後期:近世・近代・現代</p>			
評価	評価の観点	評価のポイント		観点別評価の内訳
	知識 技能	小テスト		40%
	思考 判断 表現	提出物		30%
	主体的に 学習に取り 組む態度	授業態度		30%
備考	なし			

科目(講座)	グレード	単位数	開設形態	履修形態
日本史探究a	発展	1	前期	選択科目
日本史探究b	発展	1	後期	
対象	× 新入生向け(高1相当)	× 在校生向け(高2相当)	◎ 卒業予定生向け(高3相当)	
	△ 教養・基礎学力養成	△ 専門学校に対応	◎ 大学入試に対応	
受講条件	日本史総合(標準)を修得していること。			
学習内容	旧石器時代から江戸時代までを中心に、既習知識の整理と問題演習を通して、「学力」の向上を目指す。			
評価	評価の観点	評価のポイント		観点別評価の内訳
	知識 技能	小テスト		40%
	思考 判断 表現	提出物		30%
	主体的に 学習に取り 組む態度	授業態度		30%
備考	なし			

科目(講座)	グレード	単位数	開設形態	履修形態
世界史探究a	標準	2	前期	選択科目
世界史探究b	標準	2	後期	
対象	× 新入生向け(高1相当)	○ 在校生向け(高2相当)	○ 卒業予定生向け(高3相当)	
	△ 教養・基礎学力養成	△ 専門学校に対応	◎ 大学入試に対応	
受講条件	歴史総合を修得していること。			
学習内容	<p>詳説世界史ノートについて説明を加えながら用語を記入していく。時折、入試問題をその場で解き(または自宅で解いておき)、解答・解説(出題のねらいや構造、関係するテーマの復習)行う。</p> <p>・前期:原始・古代・中世 ・後期:近代・現代</p>			
評価	評価の観点	評価のポイント		観点別評価の内訳
	知識 技能	小テスト		40%
	思考 判断 表現	提出物		30%
	主体的に 学習に取り 組む態度	授業態度		30%
備考	なし			

科目(講座)	グレード	単位数	開設形態	履修形態
世界史探究a	発展	1	前期	選択科目
世界史探究b	発展	1	後期	
対象	× 新入生向け(高1相当)	× 在校生向け(高2相当)	◎ 卒業予定生向け(高3相当)	
	△ 教養・基礎学力養成	△ 専門学校に対応	◎ 大学入試に対応	
受講条件	世界史総合(標準)を修得していること。			
学習内容	既習知識の整理と問題演習を通して、「学力」の向上を目指す。			
評価	評価の観点	評価のポイント		観点別評価の内訳
	知識 技能	小テスト		40%
	思考 判断 表現	提出物		30%
	主体的に 学習に取り 組む態度	授業態度		30%
備考	なし			

科目(講座)		グレード	単位数	開設形態	履修形態	
教養地理歴史a		標準	1	前期	選択科目	
教養地理歴史b		標準	1	後期		
対象	△	新入生向け(高1相当)	◎	在校生向け(高2相当)	○	卒業予定生向け(高3相当)
	◎	教養・基礎学力養成	○	専門学校に対応	×	大学入試に対応
受講条件	なし					
学習内容	教養としての地理と歴史の学習を通して、諸事象について、その意義や関係性を学び、各時代の特徴を掴む。					
評価	評価の観点	評価のポイント			観点別評価の内訳	
	知識 技能	小テスト			40%	
	思考 判断 表現	提出物			30%	
	主体的に 学習に取り 組む態度	授業態度			30%	
備考	なし					

科目(講座)		グレード	単位数	開設形態	履修形態	
教養地理歴史a		発展	1	前期	選択科目	
教養地理歴史b		発展	1	後期		
対象	△	新入生向け(高1相当)	○	在校生向け(高2相当)	◎	卒業予定生向け(高3相当)
	◎	教養・基礎学力養成	○	専門学校に対応	×	大学入試に対応
受講条件	教養地理歴史(標準)を修得していることが望ましい。					
学習内容	近代～現代までの歴史と地理的背景を理解して、知識と問題演習を通して、「学力」を身に付ける。					
評価	評価の観点	評価のポイント			観点別評価の内訳	
	知識 技能	小テスト			40%	
	思考 判断 表現	提出物			30%	
	主体的に 学習に取り 組む態度	授業態度			30%	
備考	なし					